

2022
7/29
第160号

議会だより のた

第12回定例会（令和4年6月）など

定例会・臨時会のあまし・・・P2～4
村政を問う（一般質問）・・・P5～10
議会の動きなど・・・P12～

ホームページ <http://www.vll.noda.iwate.jp/>
Eメール gikai_jinmukyoku@vll.noda.iwate.jp

6月10日、玉川保育所で運動会が行われました。どの競技も最後まで笑顔で頑張りました。

第12回の野田村議会定例会が令和4年6月14日から17日までの4日間を会期として開催されました。
本定例会では、一般会計補正予算など10件の案件、請願2件、陳情2件、議員発議案4件について審議を行いました。

物価高騰！ 子育て世帯の負担軽減を

補正予算

一般会計予算
1億1329万
1000円増

一般会計補正予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1329万1000円を追加し、総額を43億4236万円としました。

歳出の主なものは、公共施設等整備基金積立金、サケ資源回復事業費補助金、いわて子育て世帯臨時特別支援金給付事業等に要する経費のほか、人事異動に伴う一般職給与費等の人件費などとなっています。

子育て世帯生活支援 特別給付金事業

新型コロナウイルス

感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰に直面する低所得の子育て世帯に対し、生活の支援を行う観点から、特別給付金を支給します。

○対象者

(1)令和4年4月分の児童手当または特別児童扶養手当の支給を受けており、令和4年度分の住民税均等割が非課税である者。

(2)(1)のほか、対象児童(※注)の養育者で、以下のいずれかに該当する者。

・令和4年度分の住民税均等割が非課税である者。

・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、令和4年度分の住民税均等割が非課税である者と同様の事情にあると認められる者。

・令和4年4月から令和5年2月末までに生まれる新生児を含む。

(※注) 令和4年3月31日時点で18歳未満(障がい児については20歳未満)

○給付額
児童1人当たり
5万円

※県が支給するひとり親世帯を対象とする特別給付金の支給を受けた方は、併せて受給することはできません。



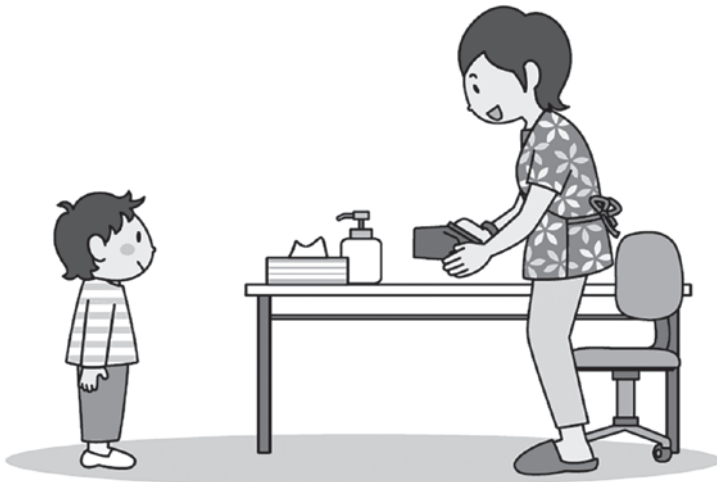
野田小学校運動会(6月2日)



いわて子育て 世帯臨時 特別支援金

原油価格・物価高騰等の影響を受ける子育て世帯の負担軽減を図るため、児童手当の対象児童(令和4年5月分の児童手当の対象児童)および高校生に対し、児童1人当たり1万5000円を支給します。

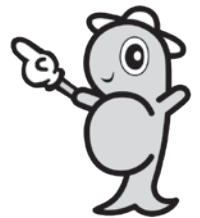
3 歳児健康診査 屈折検査機器の導入



公益社団法人日本眼科医会 屈折検査導入マニュアルより

3 歳児健康診査の視覚検査の際、弱視が見逃されないよう、多彩なスクリーニング（近視、遠視、乱視、不同視、斜視、瞳孔不同）を実施し、母子保健事業の強化を図るため、「屈折検査機器」を導入します。小児科の医師からのすすめもあり、今回、購入することとなりました。

現在、メガネなどを使っても十分な視力が得られない弱視の子どもは50人に1人ほどいるとされています。目の機能の発達が完成する時期に視力の発達を妨げる要因があると一生視力不良の状態、弱視となってしまうのです。そのため、この時期までの早期発見・治療が有効といわれています。



Q スクリーニングとは。

A 集団を対象に検査を行い、発症が予測される者を検出するための検査です。

Q 屈折検査とは。

A 専用機器を用いた視力検査で、焦点を合わせる機能の異常を測定することができ、弱視の発見率が向上します。

Q 3 歳児健診で行うのは、なぜ。

A 子どもの目の機能は3歳ごろまでに急速に発達し、6歳から8歳ごろまでにほぼ完成するといわれており、この時期まで

に弱視を早期に発見・治療することで、正常な視力を獲得することができると近年わかってきたためです。

Q 検査で異常がみつかったら。

A 病院で精密検査をし、治療となります。

Q いつから実施される。

A 検査機器が導入され次第、今年度中の活用を予定しています。



選挙管理委員 及び補充員

野田村選挙管理委員及び補充員の任期が、6月28日をもって満了となることから、指名推薦の方法で選挙を行いました。

○選挙管理委員

橘 正剛 氏

沢里 賢雄 氏

米田 榮行 氏

田中 保雄 氏

以上の方が選挙管理委員に当選されました。

○選挙管理委員補充員

第1順位、中村優介氏

第2順位、大沢幸正氏

第3順位、種綿和久氏

第4順位、野竹みつえ氏

以上の方が選挙管理委員補充員に当選されました。

野田村パエリアプロジェクト



昨年度、久慈工業生と動画を制作。「野田村パエリア」の定義づくり、村内での提供を目指す。

主な事業

- 公共業務継続事業
- バス抗ウイルスコーティング事業
- 移住・定住PR事業
- 高齢者応援給付事業
- 妊婦応援給付事業
- 地域応援給付事業
- 福祉避難所感染防止事業
- 教育環境整備事業

特産品魅力開発事業



村の特選素材を使ったレシピや、お土産等の創造を図る。

5月臨時会

5月臨時会では、一般会計補正予算・条例の一部改正、人事案件など6件について、審議を行いました。

地元の宿応援割事業



昨年同様、宿泊事業者を支援する。お一人様1泊あたり3,000円及び村共通商品券1,000円分を上限として補助。

サテライトオフィス等開設支援事業費補助金

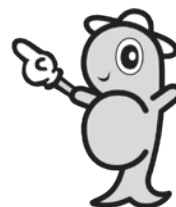


テレワークによるサテライトオフィスを開設・運営する民間事業者を支援する。

十府ヶ浦公園遊具整備事業



十府ヶ浦公園にバスケットボールのゴール1基を設置するなど。



震災学習 モデルコース造成事業



新型コロナウイルス感染症拡大以降、各地の小・中・高校等で、震災学習・復興教育を実施する動きが加速しており、特に沿岸部の震災伝承施設等に足を運ぶというケースが増加しています。こうした機会を捉え、本村でも震災学習・復興教育を受け入れる体制を整えていきたいと考えています。

◀村内には「震災伝承施設」として登録されている施設が8か所あります

モデルコース作成

モニターツアー実施

ブラッシュアップ
(よりよくする)

パンフレット作成

県内の学校に配布

野田村で震災学習

人事

監査委員に
中村司氏再任

令和4年6月14日で任期満了となる監査委員の中村司氏を再任することに同意しました。任期は令和4年6月15日から4年間です。



村政を問う

一般
質問

議員 **5** 人が登壇

一般質問は、村の行政事務全般（一般事務）に関し、村の所見や疑義について質問することができ、定例会でのみ（原則）行うことができます。

質問時間は、1人 **60分**となっており、1つの質問につき **3回まで**質問することができます。



丹野 和子 議員（P6）

津波浸水被害と避難 津波浸水想定への対策を

古舘 幹男 議員（P7）

農林水産業 後継者をどのように育てていくのか



小野寺 豊 議員（P8）

久慈管内のハウレンソウ 生産低迷の打開策を

中川 昇 議員（P9）

再生可能エネルギー 今後の取り組みは



山田 陽子 議員（P10）

避難道路の整備 現状と課題は

津波浸水想定への対策を

村長 命を守る行動の必要性訴えていく



丹野 和子 議員



14mの防潮堤完成も
いち早く高台への避難など命を守る行動が必要！

問

津波浸水想定によれば役場庁舎は最大7・78mの浸水となっている。東日本大震災から11年余がすぎ、14mの防潮堤も完成し、自然災害に絶対安全はないが、少しは安心して暮らせると思っていただけに驚くべき内容であった。今後、防災マップを作成するにあたり住民にどのように説明するのか。また、避難ビル、避難路等のハード面での計画は進んでいるか。

村長

村では、この公表を受けて、住民説明会を開催し、津波浸水防災マップを見直し、全戸に配布する。内容は、防潮堤等が破壊された場合の津波浸水想定区域に加え、指定緊急避難場所の見直しや、いち早く高台への避難など、命を守る行動の必要性を強く訴えていく。最初はソフト面での取り組みを検討していく。

問

保健センターは津波避難ビルになっているが、住民はどのように利用できるのか。

村長

保健センターは、浸水域にあり、他の避難所に逃げることを推奨していく。しかし、逃げ切れないような場合は、屋上の高さは今回の津波の想定より高くなっているため、避難できる。

ワクチンの接種状況は

問

新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種状況、併せて、若い人、小児のワクチン接種の状況はどうなっているか。

村長

12歳以上の3741人に対する3回目の接種率は89・7%、3357人で、2回目接種と比較して7・4ポイントと277人減少している。また、20代の2回目の接種率は93・8%、3回目は75・1%と減少しており、若い人ほど接種率が低くなっている。小児の接種については、対象者221人に対して、1回目の接種率14%、31人、

2回目までが7%、16人である。

問

副反応、後遺症に対する村内の援助体制は。

村長

保健センターに連絡いただければ、保健所や関係機関と連携して対応する。

問

村内でPCR検査はできないか。

村長

村内では感染者が減少傾向で、9割が3回目接種を終えている状況であり、久慈市内の無料検査会場を利用してほしい。

問

4回目のワクチン接種の予定は。

村長

7月から9月まで、保健センターを会場に前回同様に集団接種を進める。未接種者への周知も引き続き行う。

【その他の質問】

○地域防災組織の計画と役割、要配慮者の避難方法
○指定避難所の配置について



古舘 幹男 議員

農林水産業

後継者をどのように育てていくのか

村長 取り組みの成果が表れてきている

問

一次産業全般にいえることだが、先行きの明るい状況は見えない。漁業で「野田の浜支える新戦力」と岩手日報紙上で紹介された北上市出身の嶺間沢さん、またNHKでサケについて放映された下安家漁業協同組合の取り組みが明るい兆しといえるが、農林業については、野田村で生活をするための産業といえる状態にない。農林業後継者をどのようにして育てていくのか。

村長

新規就農者や新規就業者の活動を支援する事業や、資機材の導入にかかる支援を行っているほか、国の農業次世代人材投資事業などを活用し、新たな担い手の確保や育成に取り組んできた。

また、地域おこし協力隊事業では、任期を終えた隊員が本村に定住し、山ぶどう生産に従事しながら新たな事業を開始している。現在は3名の隊員が定住を見据え農業及び水産業に取り組んでいる。少しずつではあるが、取り組みの成果が表れている。さらに、今年度は、新規就農を希望する

方も現れ、農業の担い手として期待している。



5月より地域おこし協力隊として荒海団で活動する嶺間沢 貴さん

土木・建築業が事業を継続していくための施策は

問

三陸沿岸道路が開通し、震災関連の住宅建設工事も一段落。土木・建築等の事業者が事業を継続していくための施策をどのように考えているのか。現在のままでは事業者の淘汰縮小が加速しかねない。冬季の除雪、災害時の初期対応等、復旧、復興まで頼りにしているのが現実である。広域市町村としても対応を考えておくべきではないか。

村長

村勢発展のために必要な公共事業などについて、予算を見ながら計画的に事業を実施できるよう引き続き取り組んでいく。

動物による食害対策を

問

近年、野田村ではシカによる食害が多く発生している。被害状況を把握し、対策・対応は講じているのか。

村長

鳥獣被害が増加傾向にあることから、対策強化のため野田村鳥獣被害対策実施隊員を2名増員したほか、民間企業と連携し情報通信技術を活用した捕獲実験も行っている。また、関係団体の育成支援として、新規の狩猟免許等取得に係る経費の一部を補助。電気柵の貸し出しや補助等も行っている。



鳥獣被害対策実施隊委嘱状交付式
現在、11名で活動を行っています

案内標識、道標の充実を

問

野田村交流物産等複合施設基本構想の中に観光案内の機能充実の項目がある。2次元コードを搭載するなど他市町村の標識を参考に、案内標識、道標の充実を図っていただきたい。

村長

交流物産等複合施設整備の意見交換会でも、案内標識や案内看板の重要性が求められており、村の玄関口としての機能を存分に発揮させるためには、分かりやすく、親切的案内表示は必要不可欠である。

生産低迷の打開策を

村長 価格の向上・安定対策など模索したい



小野寺 豊 議員



効果的な対策が求められます

問

当地域は、やませの影響が大きく、水稲に変わる作物として雨よけハウスの導入が始まり、ホウレンソウは42年もの長きにわたって第1次産業、畑作の主役であった。このホウレンソウの販売数量・金額が減少している。極めて憂慮すべき事態。関係各所、複数の生産者から状況の確認、意見・要望等聞き取りをし、盛り返す対策作りのきっかけの令和4年度としていただきたい。

村長

久慈地方において平成13年から平成16年の4年間は販売額10億円を超え、販売40万ケースを指し取り組んだ時期があった。

しかしながら、近年は販売数量、販売金額ともに伸び悩んでいる。気温上昇など栽培環境が変化しつつあり、効果的な対策が求められているところ。今後は、引き続き担い手の確保に力を注ぐとともに、農業改良普及センターなど関係機関と連携しながら、夏季の収量対策としての技術的な実証実験による効果を見極めながら、取引価格の向上・安定対策など模索したい。

包括支援センターの現状は

問

令和2年度より、村包括支援センターの主な業務内容。支援を受ける側の年齢制限はあるのか。村内に80歳以上で一人暮らしの世帯数はいくらか。運営を外部委託から村独自に変えたことによる良い点、前のほうが良かった点の有無を伺う。

村長

地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう包括的及び継続的な支援を行うための中心的役割を担っている。主な業務内容は、高齢者に関するさまざまな困難事象を必要とするサービスにつなぐなど、総合的な相談窓口として機能を有している。利用対象者は65歳以上の高齢者と、その家族だが、年齢に制限等なく相談を受けている。80歳以上の一人暮らし世帯は、5月末現在92人で、そのうち29人の方は介護サービスを受けていない。また、令和2年4月から村直営としており、相談内容は保健福祉分野にとどまらず、住宅・公共料金など役場関係課との連携が必要な案件が多いことから、よりスピーディーな対応ができている。

役場庁舎の内外装外構の修理・修繕・補修を

問

役場庁舎について修理等を提案する。北側通用口とトイレの出入り口の外部階段の補修。正面の屋外時計を支えるポールを垂直にするべきと



早めの修理・修繕を

村長

役場庁舎は竣工から約37年を迎え、昨年には暖房設備が故障し、多額の修理費を要することから、本年度の予算でペレトストーブ等を導入することとしていた。間伐材等の木材を原料とするペレットを燃料とすることで、SDGsの取り組みにもつながる。庁舎の修繕等については、提案のあった箇所も含め、予算措置等を考慮しながら、住民や利用者の利便性、震災遺構としての意義など損なわれないよう検討したい。



中川 昇 議員

再生可能エネルギー

今後の取り組みは

村長 さまざまな知見や調査結果を生かしていく

問

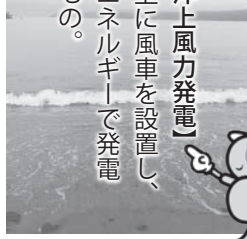
2050年温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指し、二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギーの有効性が高まっている。3月17日に経済産業省資源エネルギー庁主催による洋上風力発電（※）の勉強会が開催されたところである。今回の勉強会をどのように受け止め、今後の再生可能エネルギーの推進に生かしていくのか。

村長

洋上風力発電に取り組む意義や背景などについて一般的な説明がなされたところであり、岩手県では沿岸北部の海域における可能性等の文献調査を予定しているとのことである。こうした動きは、地域住民に関心を持っていただく貴重な機会と受け止めており、さまざまな知見や調査結果のフィードバックを通じて、今後の再生可能エネルギーの推進に生かしていきたい。

※【洋上風力発電】

海洋上に風車を設置し、風のエネルギーで発電するもの。



新型コロナウイルスワクチン接種の対象者限定は

問

これまで幅広い年齢層に接種してきたが、4回目は対象者を重症化予防と位置づけ、60歳以上と18歳以上で持病があるか、医師が認める人に限るとのことである。感染のリスクを背負って医療や介護に携わる人が対象に含まれなかったことに、どのような所感をお持ちか。また、本村の接種体制と接種スケジュールについて伺う。

村長

国によると60歳以上の方の4回目接種の感染予防効果は、短期間しか持続しなかったという報告がある一方、重症化予防効果は6週間経過しても低下せず維持されていたとの報告があるとしている。諸外国においても、対象者を重症化リスクの高い者に限定しており、高齢者等に接種させることについて異論はないものと考えている。4回目接種は、7月から9月までを予定しており、前回同様、おしかわ内科クリニックの協力により保健センターを会場に進めていく。

マイナンバーカードの普及を

問

マイナンバーカード、本人確認の際の公的な確認書類等として利用できさまざまな行政サービスを受けることができるICカードである。デジタル社会の基盤であるマイナンバーカードの普及を図ることによりさまざまな証明書をコンビニエンスストア等で取得できるサービスの向上にも繋がるものと考えているのか。

村長

マイナンバーカードは国全体でその普及促進に取り組んでいるところであり、市町村に対してはカードの普及に向けた取り組みの強化が求められている。広報等に周知記事を掲載するほか、毎月2回、日曜日にカード交付の臨時窓口を開設する等の取り組みを行っている。今後は、



自治体クラウドの取り組みは

問

自治体クラウドは、自治体ごとのシステム・データ管理に代えて外部のデータセンターに保有・管理し、複数の自治体で共同利用できる仕組みであるが、本村の取り組みについて伺う。

村長

複数の自治体が共同利用することで、運用コストの削減をはじめ、災害等で庁舎が被災した場合でも税等の行政関連データが守られ業務継続が確保できるものであり、国が進めるシステムの標準化や共通化、津波被害等に備え取り組みんでいるところである。

【その他の質問】

○コロナ禍における低所得者支援について

現状と課題は

村長 浸水想定区域の見直しに合わせ検討



山田 陽子 議員

問 日本海溝・千島海溝に、避難道路の整備は喫緊の課題だが、その現状と課題は。

村長 避難機能として現状で対応できるものと認識。今後、浸水想定区域の見直し等に合わせ検討したい。

問 高校通り線の街路灯は、夜間の避難行動に非常に重要で避難対策の観点から今後に備えるべき。また下安家地区の廃路となつた旧県道安家玉川線の村道整備と、えぼし荘への避難路となる山道も、早急な対応をすべきでは。

村長 街路灯は状況を見ながら検討していく。旧県道は落石等が不安のため村道整備の考えはない。えぼし荘までの山道避難路は、地域との意見交換をしながら進めていく。

津波浸水域による 庁舎移転は

問 県が公表した最大級、津波浸水想定により、野田村の庁舎も最大7・78mの被災想定が示された。

この想定による庁舎移転の検討は。

村長 東日本大震災大津波による復興事業で進めてきたまちづくりや、将来のまちづくりを考えた場合、他の公共施設等も含めたまちづくり全体とあわせ、総合的に検討していくが、今年とか来年とかの喫緊の中で検討する考えではない。

感染後 自宅療養者への支援は

問 4、5月には村内においても感染が急増したが、必要な支援は届き、サポートされたという認識はあるのか。

村長 本村の感染者数は、6月13日時点で10人公表。4月以降、村内の高齢者施設でのクラスターなどもあったが、そのほとんどの感染者は非公表である。また、感染後、自宅療養者への支援は、「いわて健康観察サポートセンター」が健康観察や体調に関する相談や一人暮らしで買い物に行けないなどへの対応は、業者を通じて本村では3件の食糧支援があったと伺っている。

物価高騰で 給食の質と量の保障は

問 物価が高騰して、食料品や燃料費などの物価高は、小中学校及び高校の給食にも大きな影響が懸念される。現在の給食の質と量を保障し維持していくための対策は。

教育長 本村は、パン食が月に一度と少ないことから、比較的影響が少ないものの、現在のところはメニューの工夫をし、児童生徒に必要なカロリーと栄養の確保に努めており、今後の状況を注視していく。

各家庭のWi-Fi等の 環境整備は

問 小中学校とも校舎内の通信ネットワーク環境は整ったが、自宅での学習環境についても整備が必要となり、各家庭のWi-Fi等の環境整備についての考え方は。

教育長 将来的には、端末機器の持ち帰りも想定しているが、現在のところは学校内の活用が主である。また、4月に野田中学校で調査したところ、インターネットの未接続は一桁台で、仮にオンラインを行う場合、生涯学習センターや総合センターを利用するよう進めたい。



野田村のホタテを使った「ホタテ給食」
(7月5日)

議案一覧

会議	議案番号	議案名・内容	議決結果
第13回臨時会 5/19	承認第1号	令和3年度野田村一般会計補正予算（第8号）の専決処分に関し承認を求めることについて ⇒地方消費税交付金及び特別交付税等の額が確定したことに伴い予算を補正するもの	承認 (賛成全員)
	承認第2号	野田村税条例等の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて ⇒地方税法等の一部改正に伴い、野田村税条例等の一部について所要の改正をするもの	
	承認第3号	野田村国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて ⇒地方税法等の一部改正に伴い、野田村国民健康保険税条例の一部について所要の改正をするもの	
	第1号	令和4年度野田村一般会計補正予算（第1号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ1億1,256万4,000円を追加し、総額を42億2,906万9,000円とするもの	可決 (賛成全員)
	第2号	令和4年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ1,314万1,000円を追加し、総額を5,810万円とするもの	
	第3号	監査委員の選任に関し同意を求めることについて ⇒監査委員として中村司氏を選任することに関し議会の同意を求めるもの	
第12回定例会 6/14 ～ 6/17	報告第1号	令和3年度野田村一般会計予算繰越明許費の報告について ⇒庁舎ネットワークシステム改修事業ほか8件について繰越しを報告するもの	可決 (賛成全員)
	第1号	令和4年度野田村一般会計補正予算（第2号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ1億1,329万1,000円を追加し、総額を43億4,236万円とするもの	
	第2号	令和4年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ3,547万8,000円を追加し、総額を5億9,699万9,000円とするもの	
	第3号	令和4年度野田村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ22万2,000円を追加し、総額を5,271万円とするもの	
	第4号	令和4年度野田村農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ561万3,000円を追加し、総額を5,807万6,000円とするもの	
	第5号	令和4年度野田村漁業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ567万2,000円を追加し、総額を1,911万8,000円とするもの	
	第6号	令和4年度野田村公共下水道事業特別会計補正予算（第1号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ5,934万6,000円を追加し、総額を3億4,171万7,000円とするもの	
	第7号	令和4年度野田村簡易水道事業特別会計補正予算（第1号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ1,286万2,000円を追加し、総額を1億8,355万2,000円とするもの	
	第8号	令和4年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ475万2,000円を追加し、総額を6,285万2,000円とするもの	
	第9号	開業医院経営安定資金貸付金に係る権利を放棄することに関し議決を求めることについて ⇒おしかわ内科クリニックが医院を平成29年度から5年以上開業したことにより、同クリニックに対する開業医院経営安定資金貸付金の償還に係る返還請求権を放棄しようとするもの	
	発議案第1号	令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書の提出について ⇒生産者が意欲をもって、将来にわたって安定的な営農・農地の維持が展望できるよう、現場の課題を十分に検証したうえで制度設計がなされるよう求めるもの	
	発議案第2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための2023年度政府予算に係る意見書の提出について ⇒国に対して地方教育行政の実状を十分に認識し、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるよう、教職員定数改善の推進、学級編制基準の弾力的運用、義務教育費国庫負担割合の引き上げについて求めるもの	
	発議案第3号	補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴（児）者への支援拡充を求める意見書の提出について ⇒国に対して軽度・中等度難聴者に対して十分な補助が行われるよう、補聴器の購入費、維持費への補助、全額公費助成による新生児聴覚検査、病気による難聴予防のための施策について求めるもの	
	発議案第4号	公務・公共サービスの拡充を求める意見書の提出について ⇒国に対して公務・公共サービスの拡充のため、国の行政機関の機構・定員管理に関する方針の撤回とともに、非常勤職員の安定雇用のための制度等の整備について求めるもの	

※議長は採決に加わらない

追跡

どうなりました？ あの問題

過去の一般質問などを受け、執行機関でどのような対応をしたのか。
また、どのように村政に反映されたか追跡しました。

問

ほかの市町村から来た方にも
「図書館」とわかりやすい表示を

※令和4年3月 定例会・一般質問から

答

表示を検討する

生涯学習センター入り口わき
に6月より「図書館」の案内
表示が設置されました。



研修レポート

野田小学校建設用地 埋蔵文化財調査の状況視察

○研修月日：7月13日

○参加者：全議員

野田小学校建設用地（中平地区）の埋蔵文化財調査の状況について、教育委員会事務局担当者より説明を受けました。



北部地区町村議会議員研修会

○研修月日：7月19日

○参加者：全議員

「鉄道を生かした地域づくり～三陸鉄道の取り組み」と題して、盛岡市副市長（元三陸鉄道株式会社代表取締役社長）中村一郎氏の講演等が行われました。



議会の動き

◇村政調査会

(5月15日 村役場) 全議員

◇三陸地区国道協議会・岩手県三陸沿岸道路整備促進期成同盟会 合同総会

(5月23日 宮古市) 議長

◇岩手県町村議会議長会・議員研修会

(5月26日 盛岡市) 議員2名

◇北岩手・北三陸横断道路整備促進期成同盟会総会・総決起大会

(5月29日 葛巻町) . . . 議長、副議長、
産業常任委員長

◇野田村消防団観閲式

(6月5日 村民広場ほか) 全議員

◇全員協議会、議会運営委員会

(6月10日 村役場) 全議員

◇国道455号整備促進期成同盟会総会

(6月27日 盛岡市) 議長

◇北奥羽開発促進協議会定例総会

(6月29日 八戸市) 議長

◇八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会 要望活動

(7月4日 久慈市、宮古市) 議長

◇村政調査会

(7月13日 小学校建設用地) . . . 全議員

◇岩手県町村議会議長会

第1回政務調査会・政務調査会研修会

(7月14日、15日 田野畑村) 議長

◇北部地区町村議会議員研修会

(7月19日 二戸市) 全議員

◇議会改革等調査特別委員会

(7月21日 村役場) 全議員

◇国道281号整備促進期成同盟会総会

(7月25日 盛岡市) 議長
など



野田村消防団観閲式



議会改革等調査特別委員会

過去の「議会だより」は HPから見るができます

過去に発行された「議会だより のだ」は
村のホームページで見ることができます。



携帯電話やスマートフォンのカメラ機能で
読み取ると直接サイトにつながります

議会傍聴にお越しください

村議会定例会は、3月・6月・9月・12
月に行われています。

傍聴の手続きは、受付簿に必要事項を記
入するだけなのでとても簡単です。

村の将来やあり方についての議論を直接
聞くことができます。皆様の傍聴をお待ち
しております。

次の定例会は9月です



議会だよりクイズ

問題

「屈折検査」は、どこを検査する？

- ① 鼻（嗅覚）
- ② 耳（聴覚）
- ③ 目（視覚）

【前号の答え】

- ② 村民プールろ過機更新事業

正解者の中から抽選で3名の方に
「野田村共通商品券」をプレゼント！

【応募方法】

はがきやFAXなどで、答え、住所、氏名（ふりが
な）、年齢、連絡先を記入してご応募ください。応募は
1人1通までとし、匿名での応募は受け付けません。
議会だよりに対するご意見もお待ちしております。

【応募先】

〒028-8201 九戸郡野田村大字野田20-14
野田村議会事務局「議会だよりクイズ」係まで
FAXの場合は 0194-78-3995 まで

【締め切り】 8月20日消印有効とします。

【当選発表】

次回号で当選者（特に断りが無い限り氏名）を発表し
ます。

あどがき

梅雨明けと共に短い夏がやっ
てきます。子供たちは夏休みを
家族や友達と楽しく過ごし大き
く成長します。子供は地域の宝・
国の宝です。皆さんで守り育て
たいものです。

この様な中、少年野球の高円
宮杯で当村のフェニックスが初
優勝の快挙を達成しました。

8月8日に東京都の神宮球場
で開催される全国大会に出場す
ることです。優勝を目指し
て頑張っているといっています。

議会だよりの編集委員会が
手掛けて7年になります。皆さ
んに親しみを持って愛読される
議会だよりを目指し更に精進し
てまいりますので、ご意見等を
お寄せいただければ幸いです。

米田 徳一郎

発行責任者

議長 廣内 和之

広報編集委員会

委員長 障子上文義
副委員長 小野寺光男
委員 米田 徳一郎
委員 野崎 泰斗
委員 中川 昇